平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月26日

上場会社名　四国化成工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4099　URL　http://www.shikoku.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役会長 兼 C. E. O.　(氏名) 山下　矩仁彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員　企画・管理担当　(氏名) 富田　俊彦　TEL 0877-22-4111

四半期報告書提出予定日　平成23年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	10,372	△4.2	1,403	△12.1	1,478	△7.3	817	17.5
23年3月期第1四半期	10,824	7.6	1,596	46.4	1,594	42.0	695	5.3

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　609百万円　(420.7%)　23年3月期第1四半期　117百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	13.99	―
23年3月期第1四半期	11.90	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	55,983	36,457	64.7	619.45
23年3月期	56,351	36,143	63.7	614.06

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　36,215百万円　23年3月期　35,902百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	5.00	―	5.00	10.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		5.00	―	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,000	△4.3	2,300	△26.0	2,300	△22.0	1,300	0.1	22.24
通期	41,500	△0.1	5,200	△10.2	5,200	△7.3	3,000	8.8	51.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	58,948,063 株	23年3月期	58,948,063 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	484,508 株	23年3月期	480,612 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	58,465,540 株	23年3月期1Q	58,479,112 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

頁

１．当四半期決算に関する定性的情報.....2

(1)　連結経営成績に関する定性的情報.....2

(2)　連結財政状態に関する定性的情報.....4

(3)　連結業績予想に関する定性的情報.....4

２．サマリー情報（その他）に関する事項.....4

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....4

(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....4

(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....4

３．四半期連結財務諸表.....5

(1)　四半期連結貸借対照表.....5

(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....7

(3)　継続企業の前提に関する注記.....9

(4)　セグメント情報.....9

(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....9

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1)　連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間(平成23年４月１日～平成23年６月30日)の当社グループを取り巻く経済環境は、平成23年３月11日に発生した東日本大震災の影響により、個人消費、設備投資、鉱工業生産、輸出など、あらゆる経済活動が急激に落ち込み、極めて深刻な状況よりスタートしました。

当社グループにおきましては、東日本大震災の直接的損害は軽微でありましたが、需要先、仕入先の被害などから少なからず影響を受けました。

サプライチェーンの立て直しが進み、生産活動が再開されるなかで、わが国経済も緩やかに回復していくことが期待されますが、原発事故に端を発する電力の供給不安や、原油をはじめとする資源価格の高騰、為替相場の円高進行などにより、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況下、当第１四半期連結累計期間の売上高は103億72百万円（前年同期比4.2%の減収）、営業利益は14億３百万円（前年同期比12.1%の減益）、経常利益は14億78百万円（前年同期比7.3%の減益）となり、東日本大震災の影響による需要の落ち込みや、円高の影響を受け、前年同期に対して減収・減益となりました。

また、四半期純利益は８億17百万円（前年同期比17.5%の増益）となり、資産除去債務に関する会計基準適用による特別損失の影響を受けた前年同期を上回りました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①化学品事業

(無機化成品)

ラジアルタイヤ向け原料である不溶性硫黄は円高の影響を受けましたが、販売は堅調に推移しました。レーヨン・セロハン向けの二硫化炭素は円高の影響を受けたほか、輸出が減少しました。浴用剤・合成洗剤向けの無水芒硝は、シェアの拡大と採算性の改善に努めました。

(有機化成品)

殺菌消毒剤シアヌル酸誘導品は輸出が低調に推移したほか、円高の影響を受けました。排水処理剤であるハイポルカは市場開拓に注力しました。

(ファイン　ケミカル)

プリント配線板向けの水溶性防錆剤であるタフエースは輸出が伸び悩んだほか、円高の影響を受けました。エポキシ樹脂硬化剤を主用途とするイミダゾール類は、国内販売・輸出ともに安定して推移いたしましたが、円高の影響を受けました。

この結果、化学品事業の売上高は67億21百万円(前年同期比6.8%の減収)、セグメント利益は15億２百万円(前年同期比10.3%の減益)となりました。

②建材事業

住宅投資は低水準ながらも持ち直しの兆しがありますが、非住宅投資、公共投資を含めた建築需要全体では、依然として厳しい状況が続いております。

(壁材)

湿式壁材市場の停滞により、低調に推移しました。

(エクステリア)

景観分野の販売がやや低調に推移しましたが、住宅分野は前年を上回る水準で推移しました。

この結果、建材事業の売上高は34億97百万円(前年同期比2.7%の増収)、セグメント利益は３億11百万円(前年同期比1.7%の増益)となりました。

〔参考情報〕

【販売実績】

セグメントの名称		前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	前年同期比(%)
化学品事業				
無機化成品	（百万円）	2,114	2,353	111.3
有機化成品	（百万円）	2,769	2,312	83.5
ファイン　ケミカル	（百万円）	2,327	2,054	88.3
小計	（百万円）	7,211	6,721	93.2
建材事業				
壁材	（百万円）	672	638	95.0
エクステリア	（百万円）	2,732	2,858	104.6
小計	（百万円）	3,405	3,497	102.7
報告セグメント計	（百万円）	10,616	10,218	96.3
その他	（百万円）	207	153	74.2
合計	（百万円）	10,824	10,372	95.8

（注）　上記の金額には消費税等は含まれておりません。

【海外売上高】

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）		当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	
	売上高（百万円）	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	売上高（百万円）	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)
アジア	1,836	17.0	1,717	16.6
北米	1,630	15.0	1,267	12.2
その他の地域	171	1.6	222	2.1
合計	3,638	33.6	3,207	30.9
連結売上高	10,824		10,372	

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産・負債及び純資産の状況）

総資産は、前連結会計年度末比３億67百万円減少し、559億83百万円となりました。主な増加は、受取手形及び売掛金１億67百万円、商品及び製品１億36百万円、主な減少は、現金及び預金８億18百万円、機械装置及び運搬具（純額）１億80百万円であります。

負債は、前連結会計年度末比６億81百万円減少し、195億26百万円となりました。主な増加は、支払手形及び買掛金１億77百万円、主な減少は、未払法人税等４億70百万円であります。

純資産は前連結会計年度末比３億13百万円増加し、364億57百万円となりました。主な増加は、利益剰余金５億25百万円、主な減少は、その他有価証券評価差額金１億99百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の63.7%から64.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第１四半期の連結業績は、概ね計画通りに推移しました。

従いまして、第２四半期連結累計期間及び通期の業績予想は、当初の計画（平成23年４月26日発表）を変更しておりません。なお、主要な為替レートは、83円／米ドル、120円／ユーロと想定しております。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
(1)　四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,909	6,090
受取手形及び売掛金	13,487	13,654
商品及び製品	4,778	4,914
仕掛品	124	149
原材料及び貯蔵品	2,044	1,944
繰延税金資産	684	683
その他	55	94
貸倒引当金	△7	△13
流動資産合計	28,077	27,517
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,817	4,943
機械装置及び運搬具（純額）	2,747	2,566
土地	8,603	8,602
建設仮勘定	219	314
その他（純額）	483	446
有形固定資産合計	16,870	16,873
無形固定資産	139	126
投資その他の資産		
投資有価証券	8,927	8,995
繰延税金資産	1,686	1,821
その他	651	650
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	11,264	11,466
固定資産合計	28,274	28,466
資産合計	56,351	55,983

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成23年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,442	7,620
短期借入金	2,050	2,025
1年内返済予定の長期借入金	689	689
未払法人税等	1,101	630
役員賞与引当金	53	13
その他	3,100	3,003
流動負債合計	14,437	13,981
固定負債		
長期借入金	1,029	856
再評価に係る繰延税金負債	1,858	1,858
退職給付引当金	2,080	2,049
役員退職慰労引当金	276	261
資産除去債務	344	345
負ののれん	1	1
その他	180	173
固定負債合計	5,770	5,545
負債合計	20,208	19,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,867	6,867
資本剰余金	5,741	5,741
利益剰余金	21,582	22,107
自己株式	△285	△287
株主資本合計	33,906	34,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	257	58
繰延ヘッジ損益	△0	5
土地再評価差額金	1,993	1,993
為替換算調整勘定	△254	△272
その他の包括利益累計額合計	1,996	1,785
新株予約権	39	39
少数株主持分	201	202
純資産合計	36,143	36,457
負債純資産合計	56,351	55,983

(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	10,824	10,372
売上原価	6,633	6,405
売上総利益	4,191	3,967
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	777	744
広告宣伝費	214	183
給料	475	482
役員賞与引当金繰入額	12	13
退職給付費用	56	58
役員退職慰労引当金繰入額	11	11
研究開発費	250	233
その他	795	837
販売費及び一般管理費合計	2,594	2,563
営業利益	1,596	1,403
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	123	162
雑収入	21	5
営業外収益合計	147	169
営業外費用		
支払利息	13	11
売上割引	27	28
為替差損	104	49
雑損失	3	5
営業外費用合計	148	94
経常利益	1,594	1,478
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	－
特別利益合計	0	－
特別損失		
固定資産除却損	9	15
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	313	－
特別損失合計	322	15
税金等調整前四半期純利益	1,272	1,463
法人税等	572	642
少数株主損益調整前四半期純利益	699	820
少数株主利益	3	2
四半期純利益	695	817

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	699	820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△561	△199
繰延ヘッジ損益	14	6
為替換算調整勘定	△35	△17
その他の包括利益合計	△582	△210
四半期包括利益	117	609
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	113	606
少数株主に係る四半期包括利益	3	3

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,211	3,405	10,616	207	10,824	－	10,824
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	－	1	73	74	△74	－
計	7,212	3,405	10,617	280	10,898	△74	10,824
セグメント利益	1,673	306	1,980	20	2,000	△404	1,596

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△404百万円には、セグメント間取引消去０百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△404百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,721	3,497	10,218	153	10,372	－	10,372
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	－	0	51	52	△52	－
計	6,722	3,497	10,219	205	10,425	△52	10,372
セグメント利益	1,502	311	1,814	△6	1,808	△404	1,403

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△404百万円には、セグメント間取引消去０百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△404百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。